

多機能型事業所 はまなす

生活介護 15名 放課後等デイサービス 5名 日中一時 5名

“作る”“食べる”は楽しい

平日午後に行っていたおやつ作りは、回を重ねて、行事のデザート作りから、土曜開設日の昼食の調理実習へと進化しました。

利用者も(一部スタッフも)普段やり慣れない調理ですが、積極的に取り組む方、音や香りに興味を示す方等、普段とは違う一面を見られる機会になりました。

利用者からも職員からも「またやりたいね。」と声上がる、大好評の活動でした。



コミュニケーションロボット



コミュニケーションロボットの“パルロ主事”が、歌や体操、ゲーム・クイズ等のレクリエーションを展開。みんなの笑顔や会話のきっかけを作ってくれます。

はじめは、恐る恐る声掛け、ぎこちない返答のやり取りでしたが、会話を重ねていくと、聞き違いも退屈アピールも“かわいい個性”として受け入れられているようです。

来所すると真っ先に挨拶に向かう方がいるほどで、楽しい掛け合いが聞かれるようになりました。

個別&集団活動(放課後等デイ)

令和4年度は、感染症対策を十分に実施しながら、個別対応や小グループでの活動、集団での活動に力を入れて取り組みました

個別活動では、長期休暇に「曜日ごとの活動設定表」を作成し、職員への「見える化」を図りました。リハ兼スヌーズレン室を活用し、療法士とも連携して取り組みました

集団活動では、大人たち(生活介護)とも交流を深め、夏祭りを一緒に行いました。いつもと違う雰囲気を楽しめました



次年度に向けて

- ◆ 各業務分担について、委員会を中心に計画・発信しながら全体の協力体制を作ります。それぞれの知識や技術を深めるための研修を実施します。
- ◆ 学童の長期休み期間は、放課後等デイと生活介護の融合を意識し、職員間で協力、利用児・者の特性に合った個別活動や集団活動の機会を提供します。